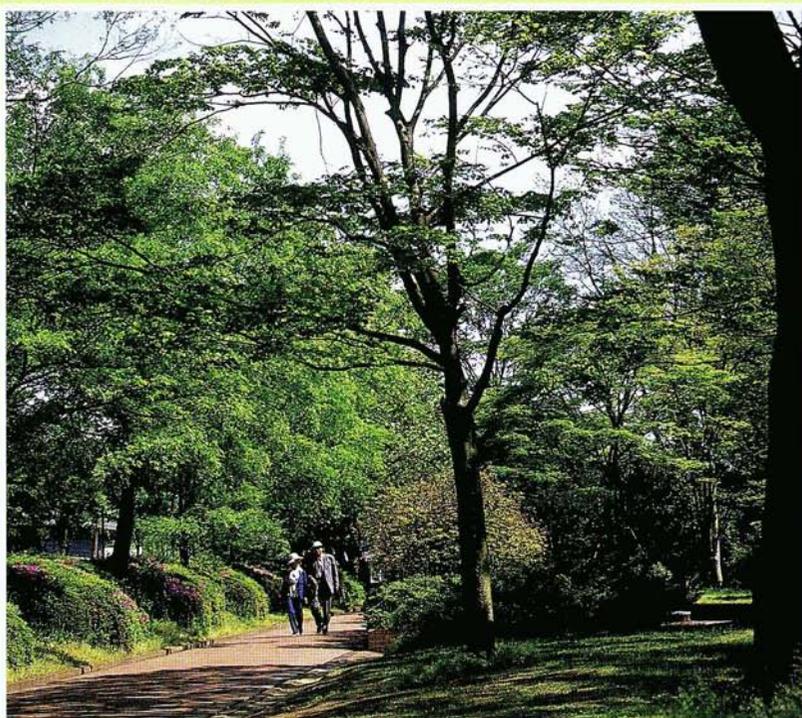


緑化のしおり

A TREE-PLANTING MOVEMENT



も く じ

- ◆こんなところに、こんな木を 1・2
- ◆景観・環境保全に適した木 3・4・5・6・7
- ◆花や実、紅葉の美しい木 8
- ◆木のふやし方 9・10・11・12
- ◆木の植え方 13・14
- ◆整枝とせん定 15・16
- ◆病害虫とその防除法 17・18
- ◆四季の管理 19・20・21・22
- ◆草木の花ごよみ 23・24
- ◆記念樹のいろいろ 25
- ◆県木(アテ)と市町村の木 26
- ◆緑化の相談は 27・28





緑化のしおり

A TREE-PLANTING MOVEMENT

こんなところに、こんな木を



私たちの生活環境を明るく豊かにするために、好きな木をどこにでも植えられるというものではありません。木を植えるには、いろいろの条件があり、それぞれの木のもつ特性を十分いかして植えることが大切です。植える目的や場所にあったものを選びましょう。

■木の特性と植える場所

特性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
日当たり地を好む	アカマツ、クロマツ、 タギョウショウ、 ヒマラヤスギ、 イチヨウ	ハナソノツクバネウツギ、 キョウチクトウ、 ピラカンサ、 ベニシタン	ケヤキ、アオギリ、 サルスベリ、 シダレヤナギ、ユリノキ、 ネムノキ、レンギョウ
日陰地でも育つ	アテ(アスナロ)、 イヌマキ、イチイ、 イヌガヤ、カヤ、 キャラボク、モミ	アオキ、イヌツゲ、 ツバキ、サザンカ、 カクレミノ、ヤツデ、 センリョウ、シラカシ、 クチナシ	ハゼノキ、センダン、 アジサイ、ハクウンボク、 ウグイスカグラ、サワ グルミ、エンジュ
やせ地に耐える	アカマツ、クロマツ、 ネズミサシ、ビャクシン、 カラマツ	ウバメガシ、スタジイ、 アセビ、キョウチクトウ、 ハクチョウゲ	イタチハギ、ヤマハギ、 ニセアカシア、ハンノキ、 ヤシャブシ、グミ、 ネムノキ
乾燥地に耐える	アカマツ、クロマツ、 トウヒ、ネズミサシ、 モミ、ヒノキ、 ゴヨウマツ、コウヤマキ	マテバシイ、ウバメガシ、 ヒサカキ、トベラ、 アラカシ、ヒメユズリハ	ニセアカシア、 スズカケノキ、コナラ、 アキニレ、ネムノキ、 ハゼノキ、カシワ
肥沃地を好む	イチイ、スギ、 コウヤマキ、ビャクシン、 ラカンマキ	アカガシ、カナメモチ、 ゲッケイジュ、 カクレミノ、サザンカ、 タイサンボク、ツバキ	アオギリ、エンジュ、 オオデマリ、カエデ類、 ケヤキ、サクラ類、 トチノキ
湿地に耐える	イヌマキ、ヌマスギ、 メタセコイア	サンゴジュ	アジサイ、オオデマリ、 ミズキ、ヤナギ類、 ドロノキ、ヤマナラシ、 ヤマハンノキ
大気汚染に耐える	イヌマキ、カイズカイ ブキ、イチヨウ	クロガネモチ、 ウバメガシ、トベラ キョウチクトウ、 ネズミモチ、マサキ、 ハナソノツクバネウツギ	オオムラサキツツジ、 アオギリ、ウツギ、 アキニレ、ナワシログミ

■生垣用には

使用上	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
外垣 (建物の周辺などの保安を図る)	クロマツ、ヒノキ、カラマツ、サワラ、スギ、ラカンマキ、カイズカイブキ、シノブヒバ	アラカシ、シラカシ、カナメモチ、キンモクセイ、サンゴジュ、サザンカ、ネズミモチ、ウバメガシ	イボタ、イロハモミジ、トウカエデ
高垣 (防火、防風などの役目を果たす)	クロマツ、イチヨウ、ラカンマキ、カヤ、ヒマラヤスギ、スギ、モミ、コウヤマキ、ヒノキ	アラカシ、サンゴジュ、スダジイ、シラカシ、ツバキ類、モチノキ、マテバシイ、クスノキ、タブノキ	クヤキ、ムクノキ、ハンノキ、ボブラ、カシワ、ナラ類
低垣 (低い区画、境界などつくる)	アテ(アスナロ)、キャラボク、ビャクシン	イヌツゲ、クサツゲ、サツキ、ナンテン、ジンチョウゲ、チャノキ、トベラ、ハクチョウゲ、マサキ	ドウダンツツジ、イボタ、ボケ、メギ、ユキヤナギ、ハギ類、ニワフジ、シモツケ
混ぜ垣 (樹種を混植して刈り込む)	アテ(アスナロ)、スギ、ビャクシン、カヤ、キャラボク、サワラ、ヒノキ、イチイ	アセビ、キンシバイ、ウバメガシ、イヌツゲ、キンモクセイ、クチナシ、サザンカ、ネズミモチ	ドウダンツツジ、オウバイ、ムクゲ、ニシキギ、ボケ、メギ、ユキヤナギ、エニシダ、イボタ
美しい花をつける生垣		ツバキ類、サザンカ、サツキ、ジンチョウゲ、チャノキ	ムクゲ、ツツジ、ユキヤナギ、ボケ、ウツギ、ウグイスカグラ、ヒョウタンボク、レンギョウ、ユキヤナギ
つる物仕立ての生垣		ムベ、アケビ、ミツバアケビサネカズラ、テイカカズラ、キズタ、イタヒカズラ	イワガラミ、ツルバラ、フジ、ヤマフジ、ヤマブドウ、アメリカツタ、サルナシ、ノウゼンカズラ、ツキヌキニンドウ
刺のある木の生垣		タチバナモドキ、ナギイカダ、ヒイラギ、ヒイラギモクセイ	カラタチ、ボケ、バラ類、ナワシログミ、メギ、ハマナス、セイヨウサンザシ

景観・環境に適した木

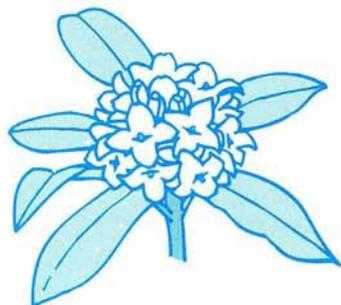


大気の浄化に大きな役割を果たしている樹木が、工場のばい煙や自動車の排気ガスなどの被害を受けて衰弱することがあります。しかし、樹木によっては、これらの害に対して強いものがありますから、健全な庭づくりなど、環境緑化に役立ててほしいものです。

区分	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
都市公園、広場 には	クロマツ、アカマツ、 モミ、ヒマラヤスギ、 タギョウショウ、スギ、 ヒノキ、サワラ、 コウヤマキ、 メタセコイア、イチョウ、 カイズカイブキ	スダジイ、タブノキ、 シラカシ、アラカシ、 マテバシイ、クスノキ、 モッコク、サンゴジュ、 ユズリハ、サザンカ、 ツバキ類、ウバメガシ、 ゲッケイジュ、サツキ、 ツツジ類	ケヤキ、トチノキ、 カツラ、サクラ類、 スズカケノキ、ユリノキ、 トウカエデ、アキニレ、 ナンキンハゼ、シモツケ、 ユキヤナギ、コデマリ、 アオギリ、カツラ、 ネムノキ
道路の並木、緑 地帯には	クロマツ、イチョウ、 カイズカイブキ	ウバメガシ、マサキ、 トベラ、シャリンバイ、 クスノキ、イヌツゲ、 オオムラサキツツジ、 マテバシイ、ネズミモチ、 ハナソノツクバネウツギ	トチノキ、ケヤキ、 シダレヤナギ、ニワウ ルシ、スズカケノキ、 ニセアカシア、エンジュ、 ユリノキ、サクラ類、 ナナカマド、アオギリ、 コデマリ、シモツケ、 アメリカフウ、ハマナス
学校、工場の緑 地には	イチョウ、クロマツ、 アカマツ、ヒマラヤスギ、 イヌマキ、カイズカイブキ、 ランカンマキ、メタセコイア、 コウヤマキ、サワラ、 ドイツトウヒ、 ダイオウショウ、ヒバ類	スダジイ、シラカシ、 タブノキ、クロガネモチ、 ネズミモチ、サンゴジュ、 ウバメガシ、モッコク、 マテバシイ、モクセイ、 カナメモチ、ヒイラギ、 サザンカ、サツキ、 ツツジ類	ケヤキ、サクラ類、 ユリノキ、ナラ類、カツラ、 ユキヤナギ、マンサク、 センダン、アキニレ、 ニワウルシ、ハナミズキ、 イイギリ、ウメ、アジサイ、 ハギ類、ヤマブキ
個人、住宅団地 には	カイズカイブキ、 アカマツ、クロマツ、 イチョウ、ヒメコマツ、 コマツガ	ツバキ類、シラカシ、 アラカシ、シイ類、 カナメモチ、モッコク、 トベラ、サンゴジュ、 ウバメガシ、シャリンバイ、 マサキ、モチノキ、 サザンカ	カエデ類、サクラ類、 コブシ、ケヤキ、ハギ類、 カイドウ、サンザシ、 ウグイスカグラ、ボケ、 ウメ、モモ、バラ類、 カリン、サルスベリ、 モクレン、ニシキギ、 ドウダンツツジ

■大気の汚染に強い木、弱い木

特 性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
耐性が弱い	アカマツ、モミ、 ヒマラヤスギ、スギ、 キャラボク	シラカシ、キンバイ	クヤキ、ムクノキ、 エノキ、ハルニレ、 フサザクラ、 ヒュウガミズキ
耐性が中程度	クロマツ、イヌマキ、 ヒノキ、カヤ	アカガシ、スタジイ、 タブノキ、シロダモ、 サンゴジュ、 トウネズミモチ、 モクセイ、サツキ類	スズカケノキ、 シダレヤナギ、 ソメイヨシノ、トチノキ、 レンギョウ、ウメ
耐性がやや強い	ラカンマキ	クスノキ、モチノキ、 クロガネモチ、 カクレミノ、ツバキ、 イヌツゲ、ヒイラギ、 ヒサカキ、ハマヒサカキ、 アオキ、ジンチョウゲ、 ナワシログミ、 ヒイラギナンテン、 ハナソノツクバネウツギ、 オオムラサキツツジ	ウツギ、トウカエデ、 アキニレ、ハゼノキ
耐性が強い	カイズカイブキ、 イチヨウ	マテバシイ、モッコク、 キョウチクトウ、トベラ、 マルバシャリンバイ、 ウバメガシ、マサキ、 ヤツデ	コナラ、アオギリ



■ 陽光を好む木、日陰でも育つ木

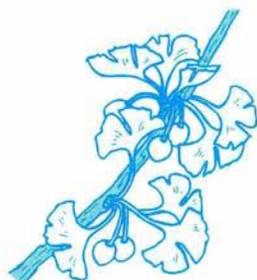
特 性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
陽光を好む	アカマツ、カラマツ、クロマツ、タギョウショウ、ヒマラヤスギ、エンコウスギ、カイズカイブキ、ドイツトウヒ、スギ、ヨーロッパアカマツ、コノテガシワ、イチヨウ、ヒメコマツ、ビャクシン	ハナソノツクバネウツギ、キョウチクトウ、ナワシログミ、ピラカンサ、カンキツ類、ベニシタン	アオギリ、ウメ、ケヤキ、シダレヤナギ、スズカケノキ、センダン、ニセアカシア、ボブラ、ユリノキ、イヌシデ、エニシダ、オウバイ、カシワ、カラタチ、ギョリュウ、ザクロ、サルスベリ、サンシュユ、ロウバイ、モクレン、トウカエデ、ハゼノキ、ドウダンツツジ、ニワウメ、ネムノキ、ウラジロハコヤナギ、ハナズオウ、フヨウ、ムクゲ、レンギョウ、ノウゼンカズラ、シラカバ、クヌギ、ナラ類、アベマキ、サクラ類、ホオノキ、カツラ、エンジュ
日陰でも育つ	イヌガヤ、カヤ、ナギ、コウヤマキ、イチイ、アスナロ、イヌマキ、モミ類、ヒバ類、ヒノキ、サワラ	アオキ、アセビ、カクレミノ、シキミ、ナギイカダ、ヒイラギナンテン、ヒイラギモクセイ、マンリョウ、ヤブコウジ、イヌツゲ、クサツゲ、サンゴジュ、ジンチョウゲ、タラヨウ、ツゲ、ネズミモチ、ヒイラギ、マサキ、モチノキ、モッコク、ヤツデ、ヒサカキ、カシ類、シイ類、ツバキ、クチナシ	アジサイ、ウグイスカグラ、ガクアジサイ、ツルマサキ、テイカカズラ、ピナンカズラ、アワブキ、コバノトネリコ、トチノキ、ハクウンボク、リョウブ、ブナ

潮風に強い木、弱い木

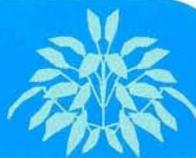
特性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
潮風に強い	イヌマキ、クロマツ、 ネズミサシ、イブキ、 カイズカイブキ、 ハイビャクシン、 キャラボク、ラカンマキ	スダジイ、ヤマモモ、 アラカシ、シラカシ、 ウバメガシ、マテバシイ、 イタビカズラ、ハマビワ、 タブノキ、サカキ、アオキ、 シャリンバイ、トベラ、 イスノキ、カナメモチ、 ヤブニツケイ、ユズリハ、 ヒメユズリハ、ツゲ、 イヌツゲ、マメツゲ、 マサキ、ヤブツバキ、 ヒサカキ、ハマヒサカキ、 マルバグミ、カクレミノ、 ネズミモチ、 キョウチクトウ、 テイカカズラ、クチナシ、 サンゴジュ、オオバイボタ、 カンキツ類、タイサンボク、 ナワシログミ、ビワ	シダレヤナギ、シラカバ、 オオバヤシャブシ、カシワ、 ハルニレ、メギ、 バイカウツギ、ウツギ、 マンサク、ハマナス、 ネムノキ、ニセアカシア、 フジ、ハゼノキ、ハマボウ、 イイギリ、アキグミ、 アカメガシワ、エノキ、 オオシマザクラ、 ガクアジサイ、クサギ、 ギョリュウ、ザクロ、ヌルデ、 ハマゴウ、シダレヤナギ、 モモ、イチジク、 ハコネウツギ
潮風に弱い	イチヨウ、カヤノキ、 ナギ、イヌガヤ、モミ、 ヒマラヤスギ、カラマツ、 ハリモミ、ツガ、 ヒメコマツ、スギ、 コウヨウザン、ヒノキ、 サワラ	クスノキ	ボブラ、ブナ、コブシ、 アメリカフウ、サクラ類、 ウメ、タチバナモドキ、 ハギ、トウカエデ、 レンゲツツジ
中程度	イチイ、ドイツトウヒ、 ラクウショウ、 コウヤマキ、 コノテガシワ、 ラカンマキ	オガタマノキ、 ゲッケイジュ、サザンカ、 サカキ、モッコク	オニグルミ、クヌギ、 エノキ、ユリノキ、 アジサイ、ガクアジサイ、 ヒュウガミズキ、 スズカケノキ、 ホザキナナカマド、 トサモツケ、シモツケ、 ユキヤナギ、シジミバナ、 コデマリ、イヌエンジュ、 エンジュ、トチノキ、 アオギリ

■防火性の大きい木、小さい木

特 性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
防火性が大きい	イヌマキ、コウヨウザン、 イチヨウ、アスナロ、 コウヤマキ、サクラ	キョウチクトウ、 シラカシ、タブノキ、 スタジイ、サザンカ、 ヤブツバキ、サカキ、 ヤツデ、ヒサカキ、 ヤブニッケイ、ユズリハ、 ヒメユズリハ、マサキ、 クロガネモチ、ソヨゴ、 ネズミモチ、ヒイラギ、 モッコク、シキミ、アオキ、 サンゴジュ	ケヤキ、ドロノキ、カシワ、 カラタチ
防火性が中程度	イヌマキ、ヒマラヤスギ、 イチイ、イチヨウ、ヒノキ、 サワラ	ウバメガシ、マテバシイ、 シャリンバイ、トベラ、 モチノキ、カナメモチ、 タラヨウ、センダン、 クチナシ、ツゲ、 キョウチクトウ、 スタジイ、ヒサカキ、 ヤブツバキ、モッコク、 シキミ、アオキ、イヌツグ、 サカキ、ヤマモモ	イチジク、アオギリ、 キリ、スズカケノキ、 ユリノキ、ミズキ、 ハコネウツギ
防火性が小さい	クロマツ、アカマツ、 ダイオウショウ、スギ、 ヒノキ、アスナロ、 ヒマラヤスギ	アラカシ、クスノキ、 タイサンボク、 キンモクセイ、イヌツグ、 アセビ、ヒイラギ	ケヤキ、ウメ、カリン、 エンジュ、サルスベリ、 ボブラ、ニセアカシア、 ニシキギ、ネジキ、 タチヤナギ



花や実、紅葉の美しい木



私たちが庭づくり、森づくりをする上で知っておきたい樹木の特性を、早春に咲く木、花に香りがある木、果実が美しい木、野鳥が好む木、新葉や紅葉が美しい木などに分けてみると次のようです。

特 性	針葉樹	常緑広葉樹	落葉広葉樹
早春に咲く (2～3月ころ)	メタセコイア	ヤブツバキ、サザンカ、 ジンチョウゲ、アセビ	ボケ、ヒュウガミズキ、 ウメ、トサミズキ、 レンギョウ、マンサク、 ロウバイ、ダンコウバイ、 クロモジ、キブシ、 サンシュユ
花に香りがある		クチナシ、トベラ、 ミヤマシキミ、モッコク、 タイサンボク、 キンモクセイ、 ギンモクセイ、ヒイラギ、 テイカカズラ	ロウバイ、ウメ、 ハクモクレン、 ジンチョウゲ、コブシ、 モクレン、エゴノキ、 オオヤマレンゲ、バラ類、 ホオノキ、ニセアカシア、 キリ
果実が美しい	イチイ、キャラボク	アオキ、ヤブコウジ、 シロダモ、タラヨウ、 モチノキ、ソヨゴ、 クロガネモチ、マンリョウ、 カラタチバナ	ムラサキシキブ、 ナツグミ、オオカメノキ、 ナナカマド、ガマスミ、 ヤブデマリ、ツリバナ、 サンザシ、アケビ、 ナンテン、アオハダ
野鳥が好む	アカマツ、クロマツ、 ヒノキ、サワラ、スギ、 カラマツ、イヌマキ、 イチョウ、モミ	ネズミモチ、シャシャンボ、 ヤツデ、ヒサカキ、マサキ、 モチノキ、クロガネモチ、 イヌツゲ、サンゴジュ、 トベラ、シャリンバイ	ガマスミ、オオカメノキ、 ムラサキシキブ、 サクラ類、ナナカマド、 ヤチダモ、マメガキ、 ナツハゼ、ミスギ、 タラノキ、アキグミ、 ウメモドキ、ヤマザクラ
紅葉が美しい (新葉が赤い)	メタセコイア、ヌマスギ、 イチョウ、カラマツ	ヒイラギナンテン、 テイカカズラ、 カナメモチ、クサツゲ	カエデ類、ガマスミ、 ナナカマド、ツタウルシ、 ドウダンツツジ、ヌルデ、 ナツツタ、ハナミズキ、 ヤマハゼ、ヤマボウシ、 チャンチン、 アカメガシワ、カツラ

木のふやし方



木は、小さい苗木からだんだん大きく育てることによって愛情がわいてくるものです。また、美しい花をつける木や、樹形の整った優れた木を見ると誰もがふやしてみたくなるでしょう。

木のふやし方には、たねまき、さし木、とり木などの方法がありますが、これらは、それぞれのふやす木に適した方法を用いなければなりません。誰にでも手がるにふやせる方法としてはさし木、とり木があります。

さし木もとり木も親木の枝から新しい苗木をつくるので、親木と同一の花も咲き、葉も樹形も似通ったものになります。

■さし木

[さし木の時期]

木の種類によって違いますが、一般に落葉樹、針葉樹は春さし（3～4月）常緑樹は梅雨さし（5～6月）又は夏さし（7～8月）がよいとされています。

[さし床の用土]

用土は、発根に大きく関係しますので、水はけ、水もち、通気の良い、しかも雑菌や害虫のいない土を選ぶことが大切です。用土としては、赤土、川砂、鹿沼土、ピートモス、ミズゴケなどいろいろありますが、これらを混用して用いるのもよい方法です。

[さし穂の調整]

春さしは前年の枝を、梅雨さし、夏さしは、今年成熟した枝を用います。穂づくりは、枝先の細い部分と枝元の太い部分を除き15～20cmに調整します。また穂を切る場合、節の部分は根が出やすいので、節の所で切るようにします。



[さし木の方法]

さしつけの前には、さし床に十分散水して、さしやすい状態にしてからさしつけします。間隔は葉が伸びてやや触れる程度で、なるべく密にさします。さし終わったら灌水することが大切です。

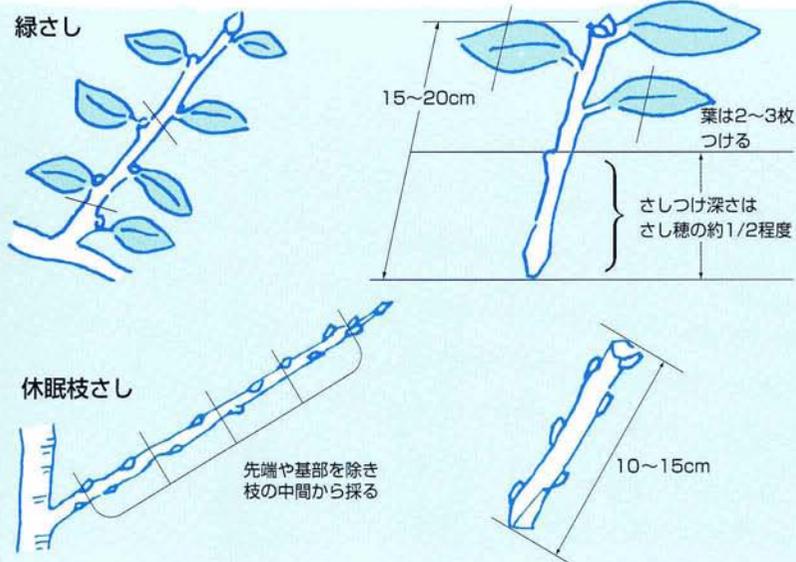
[さしつけ後の管理]

畑にさしつけた場合、さしつけ後すみやかにヨシズまたはクレモナ寒冷紗をかけて日よけと風よけを行います。風が当たると葉の蒸散が大きくなりますし、風で動くとさしつけの根元部分に空間ができ枯損の原因になります。

鉢ざし、箱ざしは、風当たりの少ない、排水のよい場所を選んでおき、ときどき灌水して、乾燥させないことが大切です。

[根はいつ出るか]

最もよい条件であれば、20日ぐらいで発根の見られるものもありますが、一般のさし木では大半がさしつけ後1~2月、遅くても2~3ヶ月までに発根します。

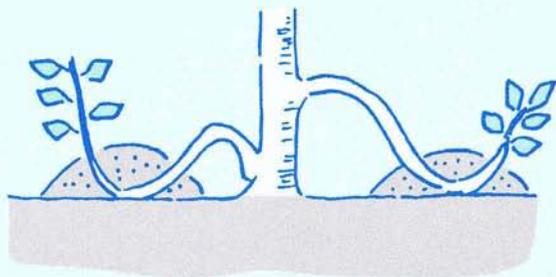


■とり木

とり木は、さし木より発根が確実で大きい苗木を得ることができます。また苗木としての養成期間も短く、しかも早期に開花、結実させることも可能です。しかし、一度に多くふやすことが出来ないので、さし木の発根のむずかしい場合とか、枝ぶりの良いところを盆栽に用いる場合に利用します。

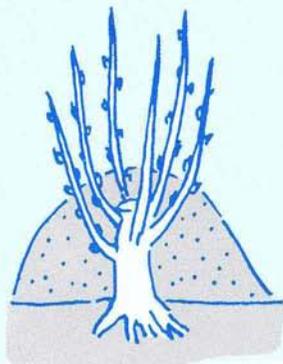
[普通とり木法]

この方法は、根元から萌芽した枝を土中に伏せ、土の中の枝から発根させる方法です。とり木の時期は、常緑樹、落葉樹を問わず、休眠芽の活動し始めたところから行います。



[盛り土法]

春、発芽前に根元の地際近くを刈り込み、土を盛っておくと新梢は土中を伸びて地上に出てきます。土中の黄化した部分から発根させる方法です。

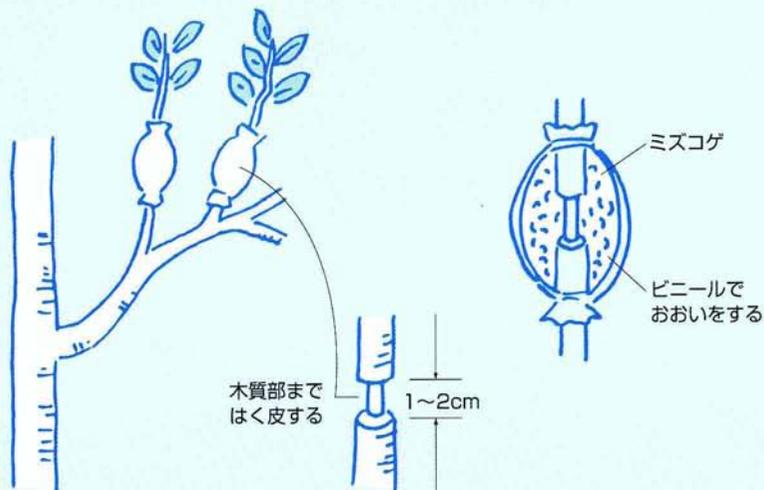


[空中とり木法]

とり木の時期は、樹液活動の活発な頃がよく、常緑樹では5～6月、落葉樹は6月頃がいいとされています。

とり木の方法は、発根させようとする箇所を外皮をナイフで幅1～2cmを輪状に剥皮します。(甘皮が残ると発根しない。)

外皮を剥いたあとは、幅15cmぐらいを、水を少量含んだミスゴケで厚めに巻いて、さらにその上からビニールで覆いをし、両端を麻紐等でしばります。



●切り離す時期

一般に落葉樹では、その年の秋または翌春、常緑樹では翌年の春、発芽前頃に切り離します。

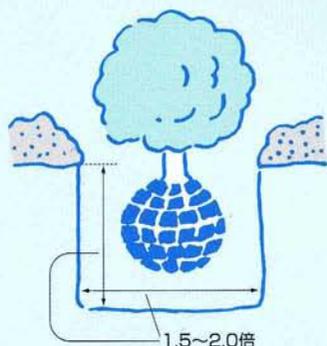
木の植え方



木を植える時期は普通、春か秋ですが、春植えの場合には3月下旬から4月中旬、秋植えの場合には10月下旬から11月下旬までが良いとされています。

朝夕や曇った日を選んで植えると良いでしょう。

●木の性質を考え場所を決め、植え穴は植え株の直径・深さとも、1.5~2.0倍の穴を掘ります。掘りあげた土は細かく砕きます。

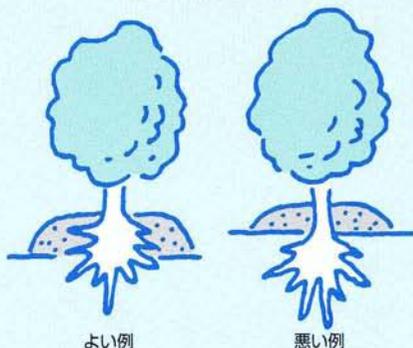


●穴の底によく腐ったたい肥やこえた土をいれ、その土が見えなくなるまで中高にもりあげます。

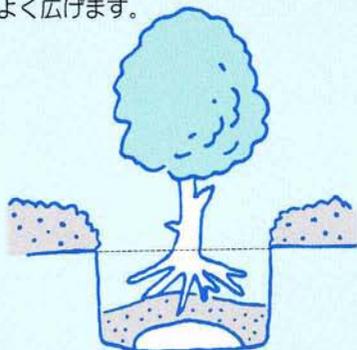


●植える深さは地面と元の根元をほぼ同じようにします。植える場所が湿地であれば土を盛り上げ浅く植えます。

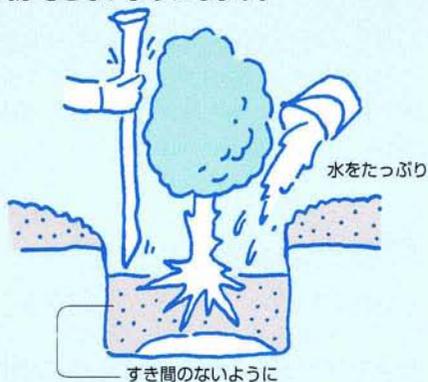
湿地に植える場合



●前後左右からみて木の一番美しく見えるほうを正面として位置を決めます。根を麻布や、ビニールなどに巻いてある場合には取り除き、根をよく広げます。



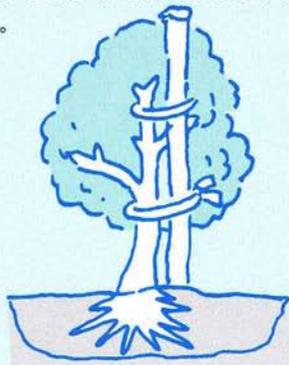
●根の周囲に穴の2/3くらい土をもどし、たっぷり水をやりながら棒でついて根の周りに隙間ができないようにします。



●水がしみ込んだら残りの土をいれて、周囲をよく踏みつけます。植えつけが終わったら水を十分に与えます。



●植え終わったら、風などで木がゆれ動くのを防ぎ、活着を早くするため、小さな苗は棒をそえてやり大きな木はしっかりした支柱をたてます。ツツジ等の低木はしなくてもよいでしょう。



整枝とせん定



花木類の整枝は木の骨格をつくり、せん定は枝や葉を切り取ることをいいます。整枝・せん定によって日光を入れ通風を図り病害虫を予防します。また美しい木の姿を作るためには、木の性質を知ると同時に、せん定後の影響などもよく考えて行うことが大切です。

●針葉樹のせん定

早春から秋にかけて行い、毎年の手入れもかかせません。マツ類では春に新しくでた芽の先端を指先でつみとり、生長を抑制することがあります。これをミドリつみといいますが、若木の場合は樹形がだいたい出来上がった頃に行います。また、夏から秋にかけては、枯れ枝やみだれた枝を整理し、伸びすぎた枝や込みすぎた枝もせん定して樹形を整え、古葉の取り除きもあわせて行います。

●常緑広葉樹のせん定

冬の整枝、せん定は寒害を受けやすいのでさけます。春の発芽前または、新しい枝葉のかたまる梅雨後に行います。シイ、モチノキ、マサキなど萌芽力の強いものが多く、用途によっては強い刈り込み仕立てもされますが、普通には枯れ枝やみだれ枝、伸びすぎた枝のせん定をして樹形を整えます。また、一般に頂部が優勢になりやすく、そのため下枝の部分が枯れ上がらないよう樹冠の上部を切りつめる場合もあります。

●落葉広葉樹のせん定

秋の落葉後から冬にかけて整枝、せん定をします。せん定は自然の樹形本位に行い、芯はあまり止めませんが、必要があれば別に弱い芯を仕立てるようにします。また、枝の間引き・せん定を主としてあまり枝葉をつみとるような刈り込みはさけ、こみすぎた枝、枯れ枝などをせん定します。また、夏になると枝は相当こんでくるので秋、冬の間にある程度の枝すかしをしないと樹形のみだれる場合があります。

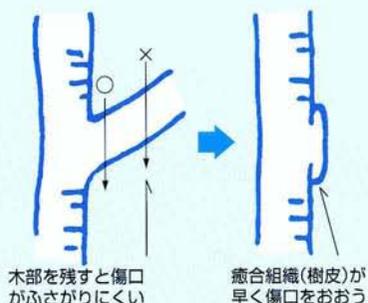
●花木類のせん定

花木を整枝、せん定する主な目的は開花にあります。したがって花つきをよくするには木の開花習性をよく知って、花芽の決まる前に整枝、せん定をし、充実した芽をつくることです。例えば落葉花木であるコブシやモクレンは9月頃になると花芽の形成がみられますから、それ以前に伸びすぎた枝や新枝をせん定します。また、常緑花木のツツジやサツキの花芽は7月頃につくので、せん定は花の咲き終わったあとすぐに行います。

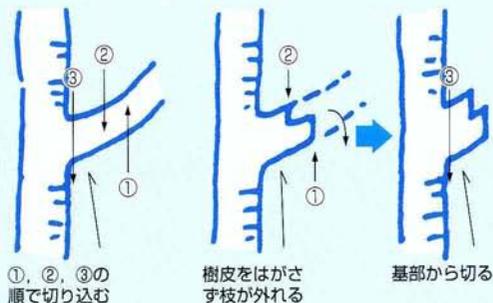
●生垣樹のせん定

刈り込みの時期は、梅雨入りの5月下旬から6月にかけてと、秋の10月頃に行うのが普通です。整枝、せん定に際しては、地上部を刈ると同時に、根を一部切ることが樹勢を整え、下枝を枯れ上げさせない秘けつです。また、萌芽力は樹種によって違うので弱樹種には強い刈り込みをひかえます。なお、いろいろな樹種をまぜ植えした生垣は、一様に刈り込むと樹勢を弱めたり、花芽を落とすことがあるので注意が大切です。

枝は基部から切る



太枝の切り方



病害虫とその防除法



樹木を害虫や病気から守るためには、なによりも常日頃の見回りが大切です。そして被害を早目に見つけて、処置することが防除のこつです。どんな虫が、いつ頃現れるか、どんな被害を与えるかということ、あらかじめ調べておいて、その時期に特に観察を綿密に行うことも大切なことです。

ツバキの葉を食べるチャドクガは、ツバキの葉の裏側に卵を産みつけて冬を越し、5月上旬頃に幼虫となり葉を食べはじめますから、その頃すばやく見つけることができれば、その葉一枚だけをとって踏みつぶすだけで完全な防除ができるわけです。また木の幹に、アリが盛んに動いているのは、多くの場合アブラムシがついていると判断しても、間違いありません。

病害虫の防除は、農薬をふりかけることだけではありません。むしろ農薬の散布は最後の手段と考えて、被害が広がらないうちに処置することが大切です。

また、樹木の生育環境を良くして、病害虫の発生を防いでやるのも大切なことです。そのための条件としては、

- ① 日あたりを良くする。
- ② 排水を良くする。
- ③ 風とおしを良くする。
- ④ 土壌の改良を行う。

等のことが必要となります。

※被害の兆候に合わせて農薬を用いる場合には、次の頁の表を参考にして下さい。
なお、農薬には毒性があるので、散布液が池や川へ入らないように充分注意する。



診断	病害虫の名前	防除の方法
枝葉が食われて いる。	毛虫類、ハマキムシ類、コガ ネムシ類、ハバチ類、ハムシ 類など	スミチオン、ディフテレックス、オルトランな どの乳剤を数回散布する
葉が縮んだり、 虫こぶができる。 黒色すす状物で 覆われる	アブラムシ類、カイガラムシ 類など すす病	スミチオン、マラソン、スプラサイド、カ ルホスなどの乳剤や石灰硫黄合剤（落葉樹 に機械油乳剤を冬季）を数回散布する。
葉が黄白色、かす り状になって退色 し、白紙上にたたくと 微小な虫が落 下して動く。	ハダニ類、グンバイムシ類など	スミチオン、マラソン、トレボン、ケルセ ンなどの乳剤を数回散布する
枝や幹に小さい穴 があいたり木くず、 ヤニなどがでる。	キクイム類、シンクイムシ類、 コスカシバ、コウモリガ、カ ミキリムシ類など	穿入孔の虫糞や木くずを取り除いてスミチ オン乳剤を注入するか、枝幹に塗布して産 卵と幼虫の侵入防止を図る。
葉に「うどん粉」を まいたような白粉 が、表裏面を覆う。	うどん粉病	冬季に石灰硫黄合剤を散布する。生育期に マンネブ、ジネブ水和剤を散布するか、病 落葉を集めて焼却する。
葉に黒色や茶色、 灰色などの斑点、 斑紋ができる。	斑点病、炭そ病、褐斑病、葉 枯病、葉ふるい病など	チオファネートメチル剤、マンネブ剤、ペ ノミル剤、有機銅水和剤など数回散布する。
葉の表裏面に黄 色からさび色の 粉をふいたよう な斑点ができる。	さび病	ジネブ剤、マンネブ剤、水和イオウ剤など 散布するか、中間寄主を除去する。
枝や幹の表面に灰 色、褐色、黒色な どビロード状の厚 い膜ができる。	こうやく病	病枝を切除するか、ハケ（剃毛）などで菌 糸膜をそぎ落とし、チオファネートメチル 塗布剤などを塗る。
根が侵されて、地 上部全体が急速に しおれて枯れる。	白紋羽病、紫紋羽病、ならた け病	発病枯死した木の根株を、丁寧に掘り取っ て焼却する。土中に埋没した根や枝があると 繁殖し、接触伝染するので、新しい土と 入れ替える。



春 3月~5月 の手入れ



● 植えかえ

3月の彼岸前後は樹木の移植適期です。新芽の動き始める前に終わるようにし、伸び出してからの移植はさけるようにします。

● 繁殖

種子のまきつけ、さし木、つぎ木は3月、4月が適期です。とりまき、株分けはなるべく早めに行います。ツバキのように8月がつぎ木適期のものもあります。

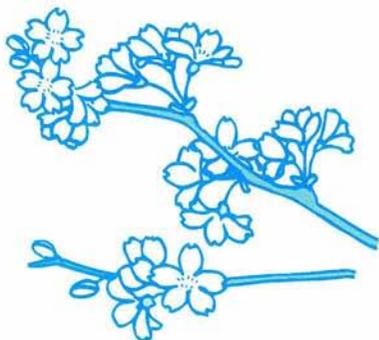
● 整枝せん定

冬の間に枯れたり折れた枝をせん定して樹形を整えます。花の終わった花木の整枝、せん定は早めに行います。

● 病気と虫の防除

樹木の新梢が伸びるころは、アブラムシやカイガラムシ類が発生し始めます。放っておくと樹液を吸われて樹勢が衰え、すす病など併発するので、発生初期からスミチオンやスプラサイド乳剤など数回散布して防除します。

また、花が終わって新葉が展開し始めると、いろんな病気が発生します。マンネブ剤やベノミル剤、チオファネートメチル剤、有機銅水和剤など有効な殺菌剤を選んで散布し、被害の広がるのを未然に防ぎます。



夏

6月~8月

の手入れ



● 植えかえ

6月頃は常緑広葉樹の移植が出来ます。しかし、常緑針葉樹、落葉広葉樹はなるべく移植をさけるようにします。

● 繁殖

6月から7月にかけて、さし木の出来る樹種が多くありますが、夏さしは春から伸びた枝の固まった頃にします。

● 整枝せん定

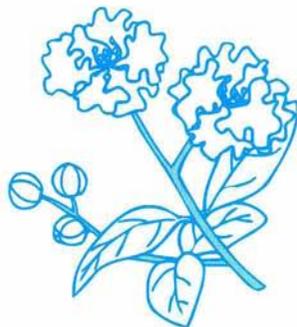
枯れ枝や伸び過ぎた枝をせん定して、日当りと通風をよくします。花木のせん定は花芽を落さないよう注意が大切です。

● 病気と虫の防除

うどんこ病、さび病、アブラムシ、カイガラムシ、毛虫類は庭木、花木の大敵です。夏にはこれらの発生が多く見られるので、被害の原因を正確に把握すると同時に、早期発見、早期防除することが大切です。

● 水やり

水はやりすぎないように回数を少なくして、一度にたっぷりかけることが大切です。また、水やりによって枝葉の汚れを落とし、木に活力を与えます。なお、水やりは日射しのない時に行いましょう。



秋

9月~11月

の手入れ



● 植えかえ

秋は樹木の移植適期です。とくに、落葉する庭木花木類は葉の落ちる10月から11月頃に行います。

● 繁殖

種子のとりまき、さし木、つぎ木は主に9月から10月頃に行います。

● 整枝せん定

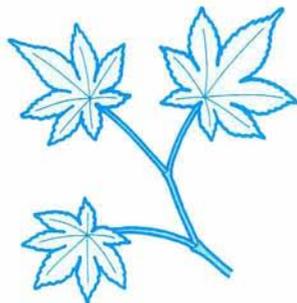
針葉樹類のせん定は早めに行い、冬芽の充実をはかります。枯れ枝、伸びすぎた枝のほか古葉のとり除きもあわせて行い、樹形を整えることが大切です。

● 病気と虫の防除

すす病の予防にはアブラムシ、カイガラムシの駆除が必要です。毛虫の防除、みの虫の捕殺も大切です。

● 防雪の用意

雪の降る北国では、樹木を雪害から守るために、帆柱を立てて枝に吊り縄を結ぶ「雪吊り」や丸太や板を立てかける「雪囲い」などします。これらの作業は、庭木の防雪対策と冬庭の修景的效果を兼ねて行われます。



冬

12月~2月

の手入れ



● 植えかえ

一般に樹木の移植は好ましい時期ではありません。なるべく雪の降る前か雪どけ後の時期に行います。

● 肥料やりと根切り

冬ごえには堆肥や鶏糞、化学肥料を使います。木の大きさに応じて施し、あまり高くしない庭木や生垣には根切りをすると樹勢の回復効果がみられます。

● 雪害の予防

庭木、花木類の枝つり、なわ巻き、こも巻きなどは、雪や寒さの害を防ぐので早めに行います。

● 病気と虫の防除

庭などに落ちた葉が多くあると病害虫の越冬場所となりやすく、春になって大発生することがあります。また、サクラのてんぐ巣病などは、冬の間に病枝を切りとって焼却することが大切です。

厳寒期の石灰硫黄合剤散布は、春先から発生する病害虫の予防になります。しかし、高温で日照の強い日は、薬害を生じる恐れがあるので、早朝か夕刻に散布します。

また、冬季に落葉する樹木に機械油乳剤を散布する場合も同様ですが、マツ類や常緑紅葉樹では、油浸症状の被害を見る場合があるので充分注意します。





1月

サザンカ(1月～4月中旬)、ツバキ類(1月～5月)

2月

メタセコイア(2月中旬～3月)、マンサク(2月下旬～4月中旬)

3月

ウメ(3月～4月)、ジンチョウゲ(3月中旬～4月)、
トサミズキ(3月中旬～4月)、サクラ類(3月下旬～5月上旬)、
ショウジョウバカマ(3月中旬～4月)、
ヒメツルニチニチソウ(3月中旬～5月中旬)、
ネコノメソウ(3月下旬～5月上旬)

4月

コブシ(4月)、ハクモクレン(4月)、ヤマモミジ(4月～5月)、
レンギョウ(4月～5月上旬)、モクレン(4月中旬～4月下旬)、
ユキヤナギ(4月中旬～5月上旬)、オオデマリ(4月下旬～5月)、
サツキ・ツツジ類(4月下旬～7月中旬)、ブナ(4月下旬～5月)、
ヤマブキ(4月下旬～5月中旬)、イチリンソウ(4月～5月中旬)、
カタクリ(4月～5月上旬)、ニリンソウ(4月中旬～5月中旬)、
ミヤマカタバミ(4月中旬～5月中旬)、シャガ(4月下旬～5月)、
スミレ(4月下旬～5月)、アマドコロ(4月下旬～5月)、
ムラサキケマン(4月下旬～6月中旬)、ホウチャクソウ(4月下旬～5月)

5月

オニグルミ(5月上旬～5月中旬)、カツラ(5月上旬～5月中旬)、
タニウツギ(5月～6月中旬)、ハクウンボク(5月～6月上旬)、
スダジイ(5月中旬～6月中旬)、トチノキ(5月中旬～6月上旬)、
エゴノキ(5月下旬～6月)、ナツツバキ(5月下旬～6月中旬)、
ヤマボウシ(5月下旬～7月上旬)、ユリノキ(5月下旬～6月)、
ミズバショウ(5月～6月上旬)、ナルコユリ(5月下旬～6月中旬)、
アカショウマ(5月下旬～6月)

6月

タイサンボク(6月～7月中旬)、アジサイ(6月中旬～8月上旬)、
キンシバイ(6月中旬～9月中旬)、クチナシ(6月下旬～8月上旬)、
ミヤマヨメナ(6月～7月上旬)、ノアザミ(6月～7月上旬)、
ササユリ(6月～7月上旬)、ハナショウブ(6月中旬～6月下旬)、
ユキノシタ(6月中旬～7月)、ギボウシ(6月下旬～8月上旬)、
ツククサ(6月下旬～10月)、ホタルブクロ(6月下旬～7月)

7月

サルスベリ(7月中旬～10月中旬)、ムクゲ(7月中旬～9月中旬)、
ヤマハギ(7月中旬～9月中旬)、ヒヨドリバナ(7月中旬～10月上旬)、
ヤブカンゾウ(7月中旬～8月上旬)、ウバユリ(7月下旬～8月中旬)、
ミソハギ(7月下旬～9月中旬)

8月

ミズヒキ(8月～10月)、ススキ(8月～10月)、
ミソソバ(8月中旬～9月上旬)、オトコエシ(8月中旬～10月)、
アキノキリンソウ(8月下旬～10月上旬)、
ツリフネソウ(8月下旬～10月上旬)、ツルボ(8月下旬～10月上旬)

9月

キンモクセイ(9月下旬～10月上旬)、
ビガンバナ(9月中旬～10月中旬)

10月

フユノハナワラビ(10月中旬～11月中旬)

記念樹のいろいろ



- **商売繁盛** マンサク、マンリョウ、センリョウ、コブシ
- **豊作・大漁** クスノキ、コブシ、ザクロ、マンサク、マンリョウ
- **安全祈願** ナンテン、サンゴジュ、ヒイラギ、モミ
- **大願成就** アスナロ、キンカン、シンジュ
- **結婚** サンショウ、ツツジ、マツ類、キンモクセイ、ツバキ、ネムノキ、ライラック、アカシア、ウメ、サルスベリ、モモ
- **婚約** クチナシ、コデマリ、シラカバ、バラ
- **出版** イチョウ、コブシ、ヒメリンゴ、マンサク、ムラサキシキブ
- **成人** ケヤキ、ヒノキ、ヒメリンゴ、マツ類、モモ
- **創立・記念** サクラ、イチョウ、スギ、ヒノキ、ユズリハ
- **巢立ち** アジサイ、ウメ、スギ、ハギ、ヒメリンゴ
- **卒業** サクラ、シンジュ、ニシキギ、ハナミズキ、ポプラ
- **退職** サザンカ、サツキ、ハナミズキ、ユズリハ、ライラック
- **入学・入社** アスナロ、アベリア、イチョウ、サクラ、マンサク
- **優勝・勝利** イチイ、キンモクセイ、ゲッケイジュ、サルスベリ、ヒノキ
- **友情** アカシア、クチナシ、コデマリ、シラカバ、バラ
- **栄誉** カイドウ、キンカン、キンモクセイ、サクラ、バラ
- **故人** カエデ、キンモクセイ、サザンカ、ジンチョウゲ、ハギ
- **快気・退院** アオキ、エンジュ、キンカン、ツバキ、モモ
- **開業・開店** イチイ、ケヤキ、センリョウ、ヒノキ、マツ類、アオキ、アセビ、カラタチバナ、ツツジ、マンリョウ
- **敬老・長寿** エンジュ、グミ、サツキ、ナンテン、マツ類
- **合格** ゲッケイジュ、コブシ、ニシキギ、ヒノキ、マツ類、サクラ
- **昇進・栄転** エンジュ、キンカン、ツバキ、ニシキギ、ネムノキ
- **新築・転居** アジサイ、エンジュ、カキ、ナンテン、ヒイラギ
- **帯祝** イチョウ、エンジュ、カキ、ザクロ、ナンテン
- **誕生** キリ、クスノキ、ナンテン、マツ類、ムラサキシキブ、ツゲ



県の木(アテ)と市町村の木



■県の木

アテはアスナロの変種で、古くから輪島漆器の素材・建築材として使われています。本県独特の木で、一般公募により昭和41年10月に決まりました。



■市町村の木

金沢市	ウメ	野々市町	ツバキ	志賀町	マツ
七尾市	タブノキ	鶴来町	スギ	押水町	クロマツ
小松市	マツ	河内村	キリ	田鶴浜町	モミ
輪島市	アテ	吉野谷村	ケヤキ	烏屋町	ウメ
珠洲市	アカマツ	鳥越村	スギ	中島町	スギ
加賀市	マツ	尾口村	スギ	鹿島町	マツ
羽咋市	クロマツ	白峰村	スギ	能登島町	アカマツ
松任市	マツ	津幡町	マツ	鹿西町	未定
山中町	ケヤキ	高松町	マツ	穴水町	アテ
根上町	クロマツ	七塚町	ウメ	門前町	アテ
寺井町	シイ	宇ノ気町	ツツジ	能都町	アカマツ
辰口町	アカマツ	内灘町	クロマツ	柳田村	ケヤキ
川北町	ケヤキ	富来町	モチノキ	内浦町	モチノキ
美川町	クロマツ	志雄町	シイ		



- 農林水産部森林管理課 森林企画係**
〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番
TEL(076)225-1111 FAX(076)225-1645
- 加賀農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒922-0831 加賀市幸町2丁目86
TEL(0761)72-8514 FAX(0761)73-4376
- 小松農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒923-0801 小松市園町八108-1
TEL(0761)23-1717 FAX(0761)24-2502
- 石川農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒920-2121 鶴来町本町4丁目リ75
TEL(0761)92-1171 FAX(0761)93-0659
- 金沢農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒920-8204 金沢市戸水町2丁目30番地
TEL(076)204-2103 FAX(076)268-9015
- 津幡農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒929-0325 津幡町加賀爪又40-3
TEL(076)289-4456 FAX(076)289-4268
- 羽咋農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒925-8510 羽咋市旭町20
TEL(0767)22-1203 FAX(0767)22-9011
- 七尾農林総合事務所 森林部林業振興課**
〒926-0852 七尾市小島町233
TEL(0767)52-6600 FAX(0767)52-9194

■ 輪島農林総合事務所 森林部林業振興課

〒929-2372 輪島市三井町洲衛10部11番1
TEL(0768)26-2329 FAX(0768)26-2332

■ 珠洲農林総合事務所 森林部林業振興課

〒9270-1215 珠洲市上戸町北方1-9-2
TEL(0768)82-3112 FAX(0768)82-0961

■ 石川県緑化センター

〒925-0214 志賀町字火打谷八44
TEL(0767)37-1011 FAX(0767)37-2144

■ 石川県林業試験場

〒920-2114 石川郡鶴来町三宮ホ1
TEL(0761)92-0673 FAX(0761)92-0812





林業試験場 樹木公園・雨情枝垂